通分して 1つの 分数に 書く ドリル②

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

中2／ドリル 項目3 ②（書く）／目標 12分

・「分数の形の式」の 問題。どの 大問も、答えを 四角に 書く。分数は 約分して 1つの 仮分数（整数に なる ときは 整数）に まとめる（分母は はらわない）。
・数と かっこの 計算は かっこを はずして まとめる。

大問1 数と 多項式の かけ算・わり算

(1) $4(x-2y)-3(2x-y)$ □

(2) $(8x-12y)\div 4$ □

(3) $-2(a-3b)+5(a-b)$ □

(4) $(6a-9b)\div(-3)$ □

大問2 分母が ちがう 分数の たし算・ひき算

(1) $\frac{3x-y}{4}+\frac{x+5y}{6}$ □

(2) $\frac{2a-b}{6}-\frac{a+3b}{4}$ □

(3) $\frac{4p+q}{3}-\frac{p-2q}{2}$ □

(4) $\frac{2m-n}{3}+\frac{m+2n}{4}$ □

大問3 分数でない 項と 分数

(1) $3x-\frac{x-y}{2}$ □

(2) $\frac{m-n}{4}+2m$ □

(3) $6c-\frac{2c-d}{4}$ □

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「式の計算」のプリント一覧がひらきます

通分して 1つの 分数に 書く ドリル②【こたえ】

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

中2／ドリル 項目3 ②（書く）／目標 12分

大問1 数と 多項式の かけ算・わり算

(1) $4(x-2y)-3(2x-y)$ → $-2x-5y$

(2) $(8x-12y)\div 4$ → $2x-3y$

(3) $-2(a-3b)+5(a-b)$ → $3a+b$

(4) $(6a-9b)\div(-3)$ → $-2a+3b$

大問2 分母が ちがう 分数の たし算・ひき算

(1) $\frac{3x-y}{4}+\frac{x+5y}{6}$ → $\frac{11x+7y}{12}$

(2) $\frac{2a-b}{6}-\frac{a+3b}{4}$ → $\frac{a-11b}{12}$

(3) $\frac{4p+q}{3}-\frac{p-2q}{2}$ → $\frac{5p+8q}{6}$

(4) $\frac{2m-n}{3}+\frac{m+2n}{4}$ → $\frac{11m+2n}{12}$

大問3 分数でない 項と 分数

(1) $3x-\frac{x-y}{2}$ → $\frac{5x+y}{2}$

(2) $\frac{m-n}{4}+2m$ → $\frac{9m-n}{4}$

(3) $6c-\frac{2c-d}{4}$ → $\frac{22c+d}{4}$

丸つけのめやす／つまずきやすいところ

大問1 (1) $-2x-5y$ (2) $2x-3y$ (3) $3a+b$ (4) $-2a+3b$。(1)(3) は 数を かっこの 中の 全部に かけて から まとめる（$-3(2x-y)$ の $-y$ は $+3y$）。(2)(4) は 全部の 項を 数で わる（-3 で わると 符号が かわる）。

大問2 (1) $\frac{11x+7y}{12}$ (2) $\frac{a-11b}{12}$ (3) $\frac{5p+8q}{6}$ (4) $\frac{11m+2n}{12}$。(1) は 12、(2) は 12、(3) は 6、(4) は 12 に 通分。ひき算は 分子ぜんたいに 符号を かける。

大問3 (1) $\frac{5x+y}{2}$ (2) $\frac{9m-n}{4}$ (3) $\frac{22c+d}{4}$。分数でない 項も 同じ 分母に 通分して 分子に 入れる。

別解の 扱い：分数は 上下でも 斜め線でも ○（斜め線の ときだけ 分子の 和に かっこ）。文字の 順は ちがっても ○（ふつうは abc 順）。

いちごドリル プリント